

## 令和6年度一般財団法人富山市大沢野健康文化推進財団事業計画

当財団は、富山市より富山市大沢野健康福祉センター・老人福祉センターの指定管理者として、改めて令和6年度から令和8年度までの指定を受け、市民の健康増進と福祉活動の機会と場所を提供し、もって市民の健康意識高揚及び福祉目的に資することを目的に運営し、引き続き快適で安全・安心な施設として管理運営に努めてまいります。

また、大沢野地域スポーツ施設及び都市公園等については、令和3年度から令和5年度までの指定管理を終了し、新たな指定管理者へ円滑に引き継いでまいります。

令和5年度は、令和2年からの新型コロナウイルスの影響から脱却する年度だったと言えます。令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になりました。感染症対策は、政府が一律に求めるものから、個人や事業者の判断が基本となり、コロナ禍前のように社会経済活動が、活発に行われることとなりました。

令和5年度の施設利用者は、コロナ禍前の約9割までに回復傾向を示しております。一方、燃料費の高騰や諸物価の値上げラッシュが続いており、経済活動活発化による人手不足、確保の問題も顕著となっています。非常に厳しい経営状況が続いているところ です。

令和6年度は、富山市とともに施設活用の活性化を目指し、パワーリハビリマシン導入やフレイル予防のためのプログラムの実施、シニアライフ講座開催などを新たに取組みます。また長年の懸案であった熱源設備の更新や建物の老朽化対策工事なども予定されており、安心安全で、魅力ある施設運営に努めてまいります。

さらに、これまで培ってきたノウハウを活かした柔軟なサービスを展開し、各種キャンペーンの取り組みなどにより積極的に利用者の増加に努め、諸物価の高騰に対してこれまで以上にコスト削減、事業の効率化を進め、健全な経営を目指してまいります。

### 1. 会員数の増加(回復)策

コロナ禍で退会された方へのアプローチはもとより、新規会員の獲得のため新たに10回のお試し体験など特別キャンペーンを企画し、広報活動を積極的に実施していきます。また、熱源設備の更新や建物の老朽化対策工事で予定されている一時的な休業に際して、会員つなぎ止めのための企画等行います。

### 2. ビジター利用の増加対策

- ① 令和元年度から導入した「7・8月を除く毎週日曜日、小学生以下半額の日」の企画は好評なため、引き続き実施してまいります。

- ② ビジター利用の減少に対して、プール利用のビジターを対象に「10回利用して、1回無料にするスタンプカード」を引き続き取り組み、利用者の増加に努めます。
- ③ 7・8月の2カ月で、ビジター利用の50%を超えるため、リピーターに繋がる企画により利用者の増加に努めます。令和3年9月より開設のLINEを活用し、情報発信にも努めます。
- ④ 新たな企画も常に検討、実施しながらビジターの増加を図ります。

### 3. 健康づくり事業と介護予防事業

市民の健康づくりや介護予防への関心が、年々高まっており、当施設の機能を十分に活用した健康づくり・介護予防の事業を実施します。

- ① 健康増進事業
  - トレーニングスタジオや屋内プールを利用した運動指導及びレッスンの実施
- ② パワーリハビリテーション(パワリハ)事業
  - ・要支援1・2、介護予防が必要な方を対象とした事業の実施
  - ・市直営パワリハ終了者を対象とした事業の実施
- ③ 健康情報の収集と提供
  - ・健康、運動情報紙の発行
  - ・ホームページによる情報の提供
- ④ 健康イベントの開催
  - ・イベントレッスンの開催
- ⑤ ニーズに即した事業の実施
  - ・水中ウォークや健康教室の開催
  - ・託児付教室の開催
- ⑥ 受託事業の実施
  - ・健康教育事業等の実施
- ⑦ フレイル予防のためのプログラムの実施(新規)
  - ・パワーリハビリマシンの導入と、フレイル予防のための各種プログラムの実施

※フレイルとは、「病気ではないけれど、年齢とともに、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態」のこと。しかしフレイルは、早く介入して対策を行えば元の健常な状態に戻る可能性があると言われる。
- ⑧ シニアライフ講座の開催(新規)
  - ・民謡、スマホ教室、男性料理教室、ウォーターウォークの開催

### 4. 富山市大沢野健康福祉センター・大沢野老人福祉センターの管理運営

富山市から公の施設の指定管理者に指定された管理運営業務について、仕様書に基づき実施します。

- ① 「ウインディ」の利用者増加を目標に、施設の特徴をPRするなど、積極的な営業活動に努めます。
- ② 適正な施設管理を通じた環境負荷の低減に努めます。
- ③ 「お客様の意見」の実施により、お客様のニーズの把握に努め、施設機能などの改善に努めます。
- ④ ロビーを利用した個展などイベントの実施
- ⑤ 施設各室の利活用
- ⑥ 職員のモチベーション、スキルの向上
- ⑦ 職員の接遇等、研修の実施

以上

# 令和6年度 収支予算書（正味財産増減計算ベース）

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

一般財団法人 富山市大沢野健康文化推進財団

（単位：千円）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2	2	0
基本財産受取利息	2	2	0
② 事業収益	111,346	129,878	△ 18,532
入会金収益	234	234	0
会費収益	47,216	60,481	△ 13,265
利用料収益	54,092	56,257	△ 2,165
分担金収益	5,582	5,115	467
手数料収益	3,009	4,150	△ 1,141
物品等売上収益	1,213	3,641	△ 2,428
③ 受取受託金	111,632	161,712	△ 50,080
受取受託金	111,632	161,712	△ 50,080
④ 受取補助金等	98,791	59,518	39,273
受取補助金	98,791	59,518	39,273
⑤ 雑収益	193	172	21
受取利息	1	1	0
雑収益	192	171	21
<b>経常収益計</b>	<b>321,964</b>	<b>351,282</b>	<b>△ 29,318</b>
(2) 経常費用			
① 事業費	296,125	327,969	△ 31,844
給与手当	18,321	20,937	△ 2,616
賃借料	46,741	56,592	△ 9,851
法定福利費	9,114	10,179	△ 1,065
厚生費	1,305	1,770	△ 465
通勤費	1,666	2,130	△ 464
退職給付費用	693	△ 864	1,557
退職金	0	6,493	△ 6,493
福利厚生費	606	711	△ 105
交際費	122	122	0
旅費	11	11	0
通信費	1,101	1,441	△ 340
消耗品費	9,998	11,683	△ 1,685
修繕費	14,847	12,938	1,909
印刷製本費	209	209	0
燃料費	39,597	31,460	8,137
光熱水費	76,265	83,922	△ 7,657
医薬材料費	442	3,538	△ 3,096
使用料賃借料	7,288	7,696	△ 408
使賄材料費	204	204	0
保険料	443	813	△ 370
食糧費	48	42	6
謝礼金報償費	7	20	△ 13
広告宣伝費	2,097	2,149	△ 52
公租公課	1,582	6,821	△ 5,239
公負担金	132	144	△ 12
減価償却費	1,860	2,400	△ 540
委託手数料	58,485	61,213	△ 2,728
手聞回数書費	1,133	1,194	△ 61
新物品等仕入費	328	343	△ 15
研修費	1,235	1,412	△ 177
修繕費	245	246	△ 1

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
② 管理費	25,839	23,313	2,526
報 酬	9,593	8,343	1,250
給 与 手 当	2,655	6,079	△ 3,424
賃 金	6,022	3,096	2,926
退 職 給 付 費 用	180	△ 1,638	1,818
法 定 福 利 費	3,017	2,855	162
厚 生 費	105	330	△ 225
通 勤 費	191	170	21
福 利 厚 生 費	66	43	23
通 信 運 搬 費	110	111	△ 1
消 耗 品 費	112	9	103
修 繕 費	153	62	91
燃 料 費	870	616	254
光 熱 水 費	1,477	1,488	△ 11
使 用 料 賃 借 料	0	194	△ 194
保 險 料	42	64	△ 22
食 糧 費	0	6	△ 6
謝 金 報 償 費	26	13	13
公 租 公 課 費	50	350	△ 300
負 担 金	80	68	12
委 託 料	121	120	1
手 数 料	969	926	43
新 聞 函 書 費	0	8	△ 8
經常費用計	321,964	351,282	△ 29,318
評価損益等調整前当期經常増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	0	0	0
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	7,983	7,532	451
一般正味財産期末残高	7,983	7,532	451
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	2	2	0
基本財産受取利息	2	2	0
一般正味財産への振替額	△ 2	△ 2	0
一般正味財産へ振替	△ 2	△ 2	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000	30,000	0
指定正味財産期末残高	30,000	30,000	0
III 正味財産期末残高	37,983	37,532	451